

★めぐり来る敗戦の日と日本のゆくえ

―六十三年間の平和は何によってもたらされたか―

◆八月十五日、また敗戦の日がめぐってきました。六十三年間、日本は一度も戦争をせず、一人の戦死者も出さずに来しました。この平和は何によってもたらされたのでしょうか

★何が戦後日本の平和と繁栄を作ったか

◆日本武道館で行われる全国戦没者追悼式で、毎年「戦後日本の平和と繁栄は、これら戦没者の犠牲の上に成り立っています」と式辞が述べられます。

◆本当にそうでしょうか？追悼とは、死者をしのんでいたみ悲しむことですから、むしろあのような愚かな戦争をして申し訳なかったと言うべきではないでしょうか。では、何が日本の平和と繁栄をもたらしたのででしょうか？

★戦後日本の平和と繁栄は平和憲法が作った

◆それは、平和憲法第九条です。日本はこの憲法のおかげで六十三年間一切の戦争をせずに歩んできた、これが平和と繁栄をもたらしたのでです。

★平和憲法を変えて戦争のできる国へ？

◆いま、憲法を変えて戦争のできる国にしようという動きがあります。このビラの裏の写真をご覧下さい。空襲で焼け野原となった六十三年前の浜松の光景です。みなさんは憲法を変えてまた戦争をし、戦死者を出してこのような光景となることを望みますか？

★平和憲法で国際貢献、これが日本の使命です

◆もし、平和憲法が変えられたら、日本は再び戦争のできる国になってしまいます。国際貢献は武力でするのではなく、平和憲法を生かし平和外交で貢献する、それが日本の正しい進路です。

二〇〇八年八月十日(日) 第四九八回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中央区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

講演会のおしらせ 08年 平和のつどい in 浜松(主催 浜松・憲法九条の会)

日時 八月十五日 午後一時半開場 二時開会
演題 「憲法について、いま、考えたいこと」
講師 高橋哲哉(東京大学大学院総合文化研究科教授)
場所 アクトタワー コングレスセンター3階会議室 (入場無料)

●ご通行中の皆さん、ドライバーの皆さん、こんにちば。歩き続けて四二年。ただいま、「浜松市憲法を守る会」の第四九八回目の平和行進を行っています。

●今年もあと五日で六十三年目の敗戦記念日がめぐってきます。この六十三年間、日本は一度も戦争をせず、他国の人も自国の人も一人も殺さずに、今日まで来しました。これは何によってもたらされたのでしょうか？

●日本武道館で行われる全国戦没者追悼式。この追悼式で、毎年「戦後日本の平和と繁栄は、これらの犠牲者の上に成り立っています」という式辞が述べられます。本当にそうでしょうか？

●追悼とは無くなった人をしのび、いたみ悲しむことですから、むしろ、あのような愚かな戦争で皆さんを犠牲にしてしまい申し訳なかったと述べるべきではないでしょうか？

●では、何が戦後日本の平和と繁栄をもたらしたのでしょいか？

それは平和憲法第九条です。日本はこの憲法のおかげで、63年ものあいだ戦争をせずに歩んできた・・・平和憲法こそ、戦後日本の平和と繁栄をもたらしたのです。

●しかし、今、この平和憲法を変えて、この国を戦争のできる国に変えようとする動きがあります。どうかいまお配りのビラを手にとつて裏の写真をご覧下さい。六十三年前、空襲で焼け野原となった浜松市の姿です。

●皆さんは、憲法を変えて、この国が再び戦争のできる国になることをお望みですか？他国の人を殺し、戦死者を出し、再びこの写真のような浜松市、日本国にしたいのですか？

●もし、平和憲法が変えられたら、日本は再び戦争をする国になってしまいます。国際貢献は武力ではなく、平和憲法を生かし、平和外交で・・・それが日本の正しい進路であると私たちは信じます。

●ご通行中の皆さん、ドライバーの皆さん、こんにちば。歩き続けて四二年。ただいま、「浜松市憲法を守る会」の第四九八回目の平和行進を行っています。

●八月十五日、午後二時よりアクトタワー・コンGRESセンター3階で、「2008年平和のつどい」が開かれます。

「ベストセラー」「靖国問題」の著者で有名な東京大学・大学院の高橋哲哉教授の「憲法について、いま、考えたいこと」という講演があります。どうぞ、お誘い合わせの上おいで下さい。入場無料です。